

広報 NASUKARASUYAMA

— No.71 —

2011
August

8

Public Relations Magazine
of Nasukarasuyama City

那須烏山

文化の継承 山あげ祭開催……………	2
J R 烏山線88周年記念式典……………	4
女性消防隊お披露目(消防団夏季点検)…	5
市政情報……………	6
まちの話題……………	10
インフォメーション……………	14



B&G交流会でカヌー体験(8月1日、B&G海洋センター)

当番町の仲町

人手不足、震災を乗り越え

450年の伝統文化を無事継承



最終公演を終え、かたい握手で労をねぎらう島崎筆頭世話人(右)。

山あげ祭

7月22日から24日までの3日間、国の重要無形民俗文化財「山あげ祭」が開催され、7万人の人流でにぎわいました。今年の当番町は仲町、演目は「辰橋」でした。祭りの様子を紹介します。

祭り初日の朝、6町若衆が協力してのみこし(出御)で、3日間行われる山あげ祭の幕開けとなりました。

6町で戸数が一番少ない仲町。元々人手不足で、開催が危ぶまれるなかでの東日本大震災でした。当番町の仲町にとって、状況はさらに厳しくなりました。

開催できるかどうか、ぎりぎりのところでの最終決断は、「開催」でした。疫病退散がこの祭りの起源。こんなときだからこそ、中止するわけにはいかないと、当番町が一丸となり、他町の応援体制も整えて、開催にこぎつけました。

それでも、初日の午前中に行ってきた「天王建」は、夜の公演に。公演日程も例年にならないスケジュール

となりました。

初日の日中は、山あげ公演がなため、山あげ会館前に金井町若衆団の固定山が設置されました。夜には、嵐山陸による万灯みこしが繰り出し、祭りを盛り上げました。

また、23日には、祭りにあわせて、JR鳥山線開業88周年記念式典が行われました。(詳細は4ページに掲載)

最終公演終了後の舞台あいさつでは、島崎健一仲町若衆筆頭世話人及び青木一夫自治会長が、これまでを振り返り、ことばに詰まる場面が幾度も。観衆からの大きな拍手で「熱い」3日間に幕を下ろしました。

深夜には、還御のみこしが八雲



④



⑤



⑥



⑦



①



②



③

①今年の演目「辰橋」②若衆の一条乱れぬ準備作業③御飯殿前でブンスキ④初日の固定山公演⑤出番を待つ踊り子⑥木頭の合図で山をあげる⑦常磐津の皆さん。

神社に戻る。これで祭りの終了です。無事、次の当番町となる泉町に450年の伝統文化を受け継ぐことができました。
なお、11月5日には、栃木県を会

場に行われる第24回全国スポーツレクリエーション祭「スポレクエコ」とちぎ2011「オーブニングアトラクション」で、山あげの公演が予定されています。

山あげ関連情報

山あげテーマに 修士論文



研究結果を手に小柳さん。

茨城県水戸市出身で、筑波大学大学院人間総合科学研究科の小柳萌衣さん。日野町、元田町、金井町当番の3年間をかけた山あげ祭に関する研究の結果を修士論文にまとめました。

論文のタイトルは「那須烏山『山あげ祭』の移動式舞台の建築構法と運営組織」。もともと、舞台建築に興味があり、先生の紹介でこの祭りをテーマにとりあげました。

なお、この研究結果は、日本建築学会技術報告集6月号の第17巻第36号にも掲載されています。

山あげ祭期間中に義援金



世田谷烏山駅前通り商店街振興会から10万円の義援金(7/25)。



JR烏山駅長
小堀康郎さん

烏山線は、大正12年の開通以来、4月15日で88周年を迎えました。この日を無事迎えられたのも、地域の皆様のおかげと感謝申し上げます。

最近では、復刻塗装車両の導入や、宇都宮直通便の増加などを行いました。今後も、安全運行に努めるとともに、地域に愛される烏山線となるよう努力していきますので、さらなるご支援をお願いします。

開業88周年を迎えて

○JR烏山線年表

年	内 容
1923 (大12)	4月15日、宝積寺駅を起点として烏山駅に至る鉄道(20.38キロ)開通 1日7往復運転 熟田(現「仁井田」)、大金、烏山の各駅が営業開始
1930 (昭5)	烏山・真岡・足尾の各線、利用者減少のため2等車を廃止
1934 (昭9)	気動車運転開始し、運転本数を10往復に増便(うち6往復が宇都宮駅まで延長運転) 下野花岡、鴻野山、小埜の各駅が営業開始
1946 (昭21)	石炭事情悪化のため蒸気機関車が4往復となる
1951 (昭26)	気動車運転再開
1954 (昭29)	滝駅営業開始
1957 (昭32)	新型気動車導入 蒸気機関車は客車用には用いられなくなりディーゼル車となる
1968 (昭43)	烏山線の廃止問題が話題となる
1971 (昭46)	大金駅貨物取扱の無人化、昼間の宇都宮乗入れ廃止などの合理化案提示
1973 (昭48)	国鉄烏山線開通50周年を迎える 烏山駅前広場を舗装し、自転車置場を設置
1975 (昭50)	切符ブームにより「大金～宝積寺」間の切符が爆発的人气になる
1977 (昭52)	朝・夕の通勤、通学のメイン列車2本が禁煙列車となる 信号がランプ式に切替となる
1979 (昭54)	新型気動車導入 ミステリー列車「銀河鉄道999号」が上野駅・烏山駅間で運転
1987 (昭62)	民営分割により4月、東日本旅客鉄道株式会社となる 烏山駅は駅長を入れて4名体制
1990 (平2)	下野花岡駅の呼称を「しもづけはなおか」から「しもつけはなおか」に変更
2003 (平15)	8月、「烏山線風っこ号」を運転
2006 (平18)	7月、「烏山山あげ祭り号」を運転
2007 (平19)	10月、宝積寺駅橋上駅舎の使用を開始
2011 (平23)	4月15日、烏山線全線開業88周年を迎える

JR烏山線88周年を迎える 山あげ祭期間中に記念式典

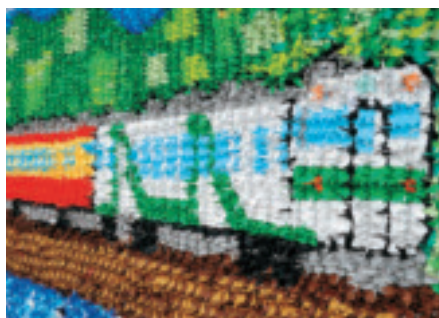
市民の重要な足「JR烏山線」が、4月15日に開業88周年を迎えました。震災の影響で延期されていた記念式典が、山あげ祭期間中の7月23日、駅前広場で行われました。

式典には、JR東日本大宮支社の田邊昭治支社長はじめ、大谷範雄市長ほか多くの来賓が出席。復刻塗装の列車で訪れた観光客も参加しました。田邊支社長は「今後も安全輸送に心掛け、100周年、150周年を迎えたい」とあいさつ。大谷市長は、観光客に「震災の影響もあったが地域の力で開催できることとなった」「山あげ祭」を楽しんでください」と

とあいさつしました。

会場には、JR東日本宇都宮地区在籍の社員による折鶴作品が展示されました。また、金井町小屋台によるおはやしや、島崎酒造による振る舞い酒、野菜の軽トラ市などで、観光客をもてなしました。

なお、JR東日本大宮支社では88周年を記念して、専用台紙付き記念入場券の販売(烏山駅)や、8月27日・28日にトロッコ風気動車「風っこ烏山号」の運行を予定しています。



(上から)多くの観光客が式典に参加／8,800羽の折鶴で作られたJR社員の作品／(右)烏山線の復刻塗装車両。

本市の発展に欠かせない烏山線。今後も皆さんの大切な足として、利用促進にご協力をお願いします。



女性消防隊のお披露目

市消防団が夏季点検

7月3日、大桶運動公園において那須烏山市消防団(興野一美団長 団員650人)の夏季点検が開催されました。8分団41部の団員のほか、市内4中学校の少年消防隊員が参加。人員、服装、機械器具の点検のほか、分列行進や一斉放水を行いました。また、「女性消防隊」の操法がお披露目され、多くの参加者が見守るなか、連日行われた訓練の成果を披露。10月には、「全国女性消防操法大会」に栃木県代表として出場します。

非常時の備えも万全

6月には、第3分団(磯政之分団長)、第4分団(岡崎裕一分団長 及び 第5分団(滝修一分団長)で、山林火災や出水時の洪水等に備えるため消防車の中継訓練や水防訓練をそれぞれ実施しました。

広い山林や一級河川がある本市にとって、災害発生時に最前線に対応に当たる消防団は貴重な存在。東日本大震災においてもその重要性が再認識されました。

中継訓練や水防訓練も実施



(上から)消防自動車などの機械器具点検／分列行進／署員の指導を受けながらの水防訓練／女性消防隊による操法披露。



第5回市議会



一般会計補正予算など4件を可決

平成23年第5回那須烏山市議会7月臨時会が7月15日に開かれ、一般会計補正予算など4件の議案を全て原案どおり可決しました。主な内容は、次のとおりです。なお、詳しくは議会事務局(☎0287-188-1714)までお問い合わせください。

話購入費、災害復旧費などです。

○特別会計

下水道事業特別会計は、汚泥の処理委託費を計上し、歳入歳出とも1000万円増額し3億8490万円としました。

○企業会計

水道事業会計は、資本的支出を5791万9千円増額し、予算総額を5億838万7千円としました。主な内容は、今年度築造する愛

宕台ポンプ場に発電機室を整備するための費用です。

○その他議決事項

「烏山小学校校舎(南舎・北舎)改修工事請負契約の締結」について、原案どおり可決されました。

ご寄付ありがとうございました

■ふるさと納税応援寄付金として
堀義和様(東京都葛飾区)から5万円が那須烏山市に寄付されました。ふるさと応援基金へ積み立てし、本市の特産品の育成並びに観光及び産業振興のため、有効に活用させていただきます。

■ふるさと納税(応援寄付金)として
愛知県豊田市長住の方(匿名希望)から5万円が那須烏山市に寄付されました。ふるさと応援基金へ積み立てし、本市の自然環境及び地域景観の保全活用のため、有効に活用させていただきます。

■烏山ロータリークラブ様から
南那須図書館に1万円が寄付されました。子育て母親支援のための絵本購入にあて、有効に活用させていただきます。

人権擁護の功績で檜山さんに大臣感謝状

6月30日まで人権擁護委員を務められた檜山秀雄さん(野上)に、法務大臣から感謝状が贈られました。檜山さんは、平成8年5月から



感謝状を手にする檜山さん。



新任の根本さん。

5期15年間、同委員として人権の擁護と思想の普及高揚に尽力されました。なお、新任委員には、根本幸久さん(野上)が任命されました。

市の工事請負等契約

(前月20日までの入札結果、単位は千円、250万円以上)

事業名	箇所	業者名	金額	工期
荒川小学校校舎周辺フェンス工事	大金	(株)岡工務店	4,357	6/27～8/31
虻塚滝原線 外 道路災害復旧工事(市単災害)その8	野上 外	小林建設(株)	2,887	6/27～9/30
谷浅見団地支線2号 外 道路災害復旧工事(市単災害)その18	谷浅見 外	(有)相河組	3,706	6/27～9/30
被災展示資料整理活用事業業務委託	大金240	(株)パスコ	8,295	7/2～3/20
小中学校空調設備設置工事設計業務委託	市内	(株)大森一級建築士事務所	4,494	6/30～11/30
烏山地区漏水調査業務委託	烏山地内	(株)伊藤ライニング	3,885	7/4～9/1
境小学校プール解体工事	上境1404	(株)関谷建設	3,675	7/6～8/31
烏山小学校校舎(南舎・北舎)改修工事	愛宕台2800	平野・鈴木 特定建設工事共同企業体	185,535	7/17～11/30
三箇東線道路災害復旧工事(23年災/137号)	三箇・山根	木島興業(有)	3,412	7/25～9/7
小倉藤田線道路災害復旧工事(23年災/139号)	藤田・川西山	荒井工業(株)	2,520	7/25～9/7
八ヶ代田野倉線道路災害復旧工事(23年災/140号)	八ヶ代・バラ山	荒井工業(株)	2,583	7/25～9/7
曲畑白金線道路災害復旧工事(23年災/141号)	曲畑・蟹沢	(株)荒川建設	4,021	7/25～9/27
小志鳥中山線道路災害復旧工事(23年災/142号)	志鳥・小志鳥	(株)野村建設	3,150	7/20～9/16
大金台西通り線道路災害復旧工事(23年災/144号)	月次・大門	(有)板橋建設	3,675	7/19～9/1
三箇鍛冶ヶ沢線道路災害復旧工事(23年災/145号)	鴻野山・鳳久保	(株)中山建設	17,850	7/25～11/11

※入札等に関するお問い合わせは、総務課管財係☎0287-83-1111まで。

幼稚園・保育園、小・中学校に放射線量計配置

7月19日、私立を含む市内の全幼稚園、保育園、小・中学校及びこども館に、簡易放射線量計を配置しました。これまでは、烏山消防署及び南那須分署に配置された線量計を借りて、測定を行ってきました。今後は、各施設に配置された線量計で、毎日、測定します。

なお、消防署、分署の測定結果については、これまでの防災メール、防災無線（南那須地区）に加え、烏山・南那須庁舎のロビーに掲示するとともに、毎日ホームページに掲載しています。

市では、空間放射線量測定結果

のほか、水道水の水质検査（放射能測定結果、プールの水の水质検査（放射能測定）結果、水処理センターの放射能濃度についても、随時ホームページで公表しています。

下水道汚泥の処理方法を変更

これまで、公共下水道水処理センターでは、汚水の浄化処理により発生した汚泥を、南那須地区広域行政事務組合保健衛生センターに搬入し、乾燥させて肥料原料として利用してきました。

このほど、その汚泥に含まれる放

空間放射線量、プールの水等に関して、詳しくは総務課危機管理室 ☎ 0287-8311111 まで、水质検査等については上下水道課 ☎ 0287-8410411 までお問い合わせください。

放射性物質を測定したところ、肥料として使用できる国の基準（200ベクレル/キログラム）を超える値が検出されたため、7月前半分の汚泥搬出及び肥料化処分を見合わせていました。

市では、汚泥の安全な処理方法を

■汚泥に含まれる放射性セシウム量（放射性セシウム134、137の合計）

（単位：ベクレル/キログラム）

施設名等	5/12採取	6/27採取	7/15採取
南那須水処理センター	448	432	389
烏山水処理センター	274	210	287
国の基準（肥料利用）	200以下		

検討した結果、民間業者を介して安全に処分することになりました。

なお、汚泥の分析結果は、右の表のとおりです。水処理センター内の空間放射線量は、市内のほかの観測点と同レベルとなっています。

公共下水道の汚泥処理に関して、詳しくは上下水道課 ☎ 0287-8410411 までお問い合わせください。

8月1日から、南那須運動場（石子）のがれき搬出を開始しました。

■住宅被災状況

区分	件数
全壊	66件
大規模半壊	15件
半壊	100件
一部損壊	2,410件

（7月31日現在）

（上から）私立の施設にも放射線量計を配置（烏山聖マリア幼稚園）／汚泥処理設備（脱水機）／南那須運動場からがれきの搬出を開始（8/1）。

【リフォーム助成制度の概要】

対 象 者	・市内に継続して1年以上住民登録している方 ・所有者又は所有者から2親等以内の親族で、現在居住している方
対象住宅	・併用住宅は居住部分のみ、マンションは専有部分のみが対象 ・新築後5年以上経過していること ・過去にこの制度を受けていないこと（この制度を受けられるのは1回のみ） ・東日本大震災により住宅を被災し、市の災害復旧等支援金を受給していないこと
対象工事	・30万円(税込)以上のリフォーム工事 ・市へ指名参加願を提出又は小規模工事等契約希望者制度に登録している市内施工業者が行う工事 ・平成25年3月末までに着手できる工事



7月7日の制度説明会。

市では住環境の向上や地域経済の活性化のため、平成23・24年度の2年間、住宅リフォームに対する助成金を交付することとしました。この制度は、市民が、市内の施工業者に発注し、現在住んでいる住宅のリフォーム工事を行う場合、費用の一部(補助率10%、最高10万円)を助成するものです。

7月7日には、制度説明会を開催しました。市内の施工業者やリフォーム工事を計画している市民が参加し、施工業者、

市で助成金を交付

申請手順、助成対象となるリフォーム工事内容等について質問がありました。

さらに、7月14日には那須烏山商工会による住宅リフォーム事業説明会が開催されました。商工会では、以前から建設業部会において、住宅リフォームを積極的に推進してきました。

住宅リフォーム助成制度について、詳しくは商工観光課(☎83-1115)または那須烏山商工会南那須支所(☎88-2029)までお問い合わせください。

リフォームで暮らしやすい住居にしませんか？

シリーズ 市の文化財 第4回

はなわ てん さい 塙の天祭(三箇)

(昭和58年選抜 国無形民俗文化財)



江戸時代(約300年前)、出羽国出身の鳥海上人が、高野山での修行を終え帰郷途中、この地で病に倒れ、松原寺を開山しました。上人は、凶作などで荒廃した人々の心を癒すため、諸国遍歴の途中で聞き覚えた唄や踊りを村民に教え、凶作

の苦しみから立ち上がらせたそうです。これが天祭行事の起源であるとして、地元では伝承されています。

祭りは、神仏混交の珍しい行事で、日天、月天を中心とした諸処の神仏を勧請し、神官、僧、行人によって厳かに執り行われます。そして、鉢巻、法被姿の地元の子どもたちが、笛や太鼓に合わせて「綾竹踊」や「扇子踊」などの天祭踊りを披露すると祭りは最高潮となります。

かつては、毎年二百十日を中日として、二夜三日にわたって行われていましたが、現在は、9月1日に最も近い日曜日に行われています。(今年は8月28日に開催)

矢野貞男 30,000円、那須烏山市職員労働組合 100,000円、ふるさと烏山会50,000円、全建総連栃木県建設労働組合 50,000円、烏山城カントリークラブ1,000,000円、世田谷烏山駅前通り商店街振興組合 100,000円、山中正勝 11,000円、フレンド会 50,000円(7月受付分、受付順、敬称略)

(訂正:7月号の「中沢美代13,000円」は「インディアカ会員一同13,000円」の誤りでした。お詫びして訂正します。)

本市への東日本大震災義援金 ありがとうございます



烏山城カントリークラブより義援金が手渡される。